



『高野山・熊野を愛する100人の会』

## 高野山・熊野の魅力講座（オンライン）配信開始！

～荒俣宏さん、山本まりこさん、石田ゆうすけさん ご出演～

記者発表

令和3年9月29日

新型コロナウイルス感染症による影響で、閉塞感漂う中、うれしいお知らせです。

この度、『高野山・熊野の魅力講座（オンライン）』を配信し、皆様に「高野山」「熊野」、今回は特に「熊野」の魅力をお届けできることとなりました。

本講座は、100人の会メンバーで作家の荒俣宏さん、写真家の山本まりこさん、旅行作家の石田ゆうすけさんにご出演してもらい、それぞれの視点から「高野山」「熊野」の魅力を語っていただきました。

本日、9月29日（水）から視聴できますので、ご覧になって、新たな「高野山・熊野」に触れ、知見を深めていただき、ぜひ高野山・熊野の地を訪れてください。

ご視聴はこちらから → (<https://koyasan-kumano100.jp/koza/>)

※配信期間 令和3年9月29日（水）～令和4年3月31日（木）



### <高野山・熊野を愛する100人の会>

100人の会は、世界遺産登録15周年を契機に、『紀伊山地の霊場と参詣道』の価値の継承とさらなる魅力の発信を行うため、各界の著名な方にご参画いただき、令和元年7月設立し、これまで「高野山」と「熊野」に関する写真展などの取り組みを展開

### <概略>

**出演者①：作家 荒俣 宏さん**

テーマ：熊野の森の愛し方（突撃編）

めざすは6000年の「時の壁！」

概要：「熊野」の“愛し方”を様々な角度から語っていただきました。和歌山を代表する偉人も登場するなど、熊野の理解が深まります。

**出演者②：写真家 山本まりこさん**

テーマ：「熊野と私」

概要：写真家という視点で熊野のおすすめスポットやグルメを紹介いただきました。カメラのハウツーや熊野を訪れる人「へのメッセージも収録。

**出演者③：旅行作家 石田ゆうすけさん**

テーマ：石田的 熊野のみどころ

行かずに死ぬるか！クマイチサイクルのすすめ

概要：今話題の「クマイチ」や世界を自転車で旅した体験から見た熊野など、これまで聞いたことがない視点からご紹介いただきました。



### ～『100人の会』公式ホームページ絶賛更新中～

ホームページではメンバーみなさまを、メッセージやサイン等とともにご紹介！その他、メンバー以外で「高野山」「熊野」エリアで活躍している方々を“匠インタビュー”で、ご紹介しています。

ぜひ、ご覧ください。 (<https://koyasan-kumano100.jp/>)



担当課	観光振興課
担当者	藏光・竹本
連絡先	073-441-2777



## 荒俣 宏

博物学者、作家

### Profile

慶應義塾大学卒業後、10年間システムエンジニアとして日魯漁業（現マルハニチロ）に勤務した後、独立。百科事典の編集助手をしながら書いた小説『帝都物語』がベストセラーになり、同作品で日本SF大賞を受賞。神秘学、博物学、風水等、多分野にわたり精力的に執筆活動続ける。



## 山本 まりこ

写真家

### Profile

2011年から熊野古道に通い出し現在までに300km以上を歩きライフワークとして撮り続けている。2017年、日本カメラ社より写真集「熊野古道を歩いています。」を出版。

理工学部建築学科卒業後、設計会社に就職。25歳の春、「でもやっぱり写真が好き」とカメラを持って放浪の旅に出発しそのまま写真家に転身。風通しがいいという意味を持つ「airy（エアリー）」をコンセプトに、空間を意識した写真を撮り続けている。撮影、執筆、講演、講師、テレビ出演など活動は多岐。著書は「エアリーフォトの撮り方レシピ」など11冊。好きな食べ物は、カレーとイカ。



## 石田 ゆうすけ

旅行作家

### Profile

和歌山県白浜町生まれ。7年半かけて自転車で世界一周し、87カ国を訪問。その顛末をつづった『行かずに死ねるか！』（幻冬舎）は中国など3カ国で翻訳され、累計25万部を超えるヒット作になった。続編に『いちばん危険なトイレといちばんの星空』や『洗面器でヤギごはん』（ともに幻冬舎）がある。ほかに『台湾自転車気儘旅』（KADOKAWA）、『大事なことは自転車が教えてくれた』（小学館）など。また食の記事も手がけ、『アンソロジー餃子』（PARCO出版、共著）『アンソロジー カレーライス!! 大盛り』（ちくま文庫、共著）がある。全国の学校や企業で「夢」「人権」「食」「生き方」をテーマに講演も行っている。